

Press Release:2011.3.1

武田 梨沙 / Risa Takeda 【neither truth nor fiction】

2011.3.29[Tue.] — 4.10[Sun.] 11:00~19:00(最終日18:00)



【1】 **melting form**
2011 絹糸、PP紐、針金、顔料



【2】 **melting form (部分)**
2011 絹糸、PP紐、針金、顔料

ご案内

Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] では、2011年3月29日から4月10日まで、美術作家・武田梨沙による「neither truth nor fiction」展を開催いたします。

2010年に成安造形大学・テキスタイルアートクラスを卒業、現在は同大学にテキスタイルアートクラス研究生として在籍する武田梨沙(1987~)は、これまでおもに「織り」による作品を制作しています。

「形状は自然と生まれた。織りと素材が互いに融合し、彼らが願う姿を私が生み出す」と語る武田は、糸を平面に、平面を立体に織り上げる過程で、その素材と向き合いながら、自然とあるべきフォルムを見つけ出します。また、たとえばポリプロピレンと絹など、丹念に織り込まれた糸そのものが持つ素材感、自然と全体に反映しながらも、そこに新たな「質感」を生み出しています。

鑑賞者は、全体を眺め、部分に目を凝らし、時にその裏側に視点を移動させることで、「織り」によって作品が併せ持つ、様々な表情を感じることができるのではないのでしょうか。

本展では、武田の新作とともに、これまでの大型の織り作品2点をはじめ、平織りのタペストリー作品を、ギャラリー空間に合わせて展示いたします。

つきましては、本展の周知にご協力くださいますようお願いいたします。

※本展の告知にご協力頂ける際には、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、Gallery PARC【 galleryparc@grandmarble.com 】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名：neither truth nor fiction

出品作家：武田 梨沙(たけだ・りさ)

会 期：2011年3月29日(火) — 4月10日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊、最終日18:00まで

料 金：無料

協 賛：成安造形大学同窓会

会 場：Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 店舗2階

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】galleryparc@grandmarble.com 【HP】http://www.grandmarble.com/parc/

アクセス：阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分

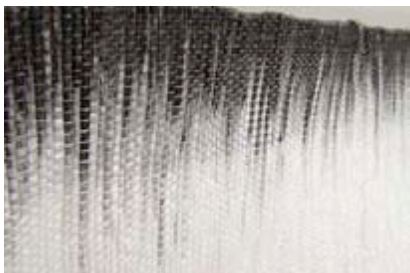
Press Release:2011.3.1



【3】 **far in the distance**
2010 絹糸、PP紐
「far in the distance」: 立体ギャラリー 射手座 / 京都・2010



【4】 **melting cloth**
2010 絹糸、PP紐、針金、顔料



【5】 **melting cloth (部分)**
2010 絹糸、PP紐、針金、顔料



【6】 **Point of View**
2011 絹糸 絹糸
「Point of View」: GALLERY&SHOP 柳小路 / 京都 2011

【アーティスト・ステートメント】

糸のつやのない鈍い印象、染色による発色の低さが嫌いだった。織りは糸状、紐や短冊のような単純な線のものであれば何でも織れる。ただ織り込む素材を自分が求める質感へと変えるだけにとどまらず、織るという行為によってより私の望むもべきものへと近づいていく。

また、織りをしていると、布の表裏に表情の違いがあることに気づく。同じひとつのものからできているはずなのに、裏面には糸のはじまりと終わりが現れる。その存在を度外視して、ただただ織りという行為に没頭していた自分が恥ずかしくなった。その姿をなんとかして見せられる形にしたいと思った。それが立体へ変貌するきっかけであった。

形状は自然と生まれた。織りと素材が互いに融合し、彼らが願う姿を私が生み出す。ただそれだけのこと。

【本展コーディネーター・草木 貴照テキスト】

彼女の作品は剛胆である。テキスタイルが持つイメージからはほど遠い言葉であった。

一見、それはやわらかく透明感を漂わせて眼前に現れる。一枚の布から形成されていることすら感じさせないフォルムと質感を持って。

決して素材に強要させることなく、ただ、あるべき姿へ誘うかのように、そこには彼女によって支配された繊維の集合体が存在している。

【作家略歴】

武田 梨沙 Risa Takeda

2010- 成安造形大学 テキスタイルアートクラス卒業

個展

2011- Point of View (GALLERY&SHOP 柳小路/京都)

2010- far in the distance (立体ギャラリー 射手座/京都)

主なグループ展

2010- タベストリー展(ギャラリーアートサイト/滋賀)

- 成安ミニアチュール展(ギャラリーマロニエ/京都)

- SEIAN PUSH(ギャラリーアートサイト/滋賀)

- hide and seek(ギャラリーはねうさぎ/京都)

2009- 芸術系大学作品展2009~ART UNIV.2009~(元・立誠小学校/京都)

- MESSAGE in TEXTILE(ギャラリーアートサイト/滋賀)

- ミニアチュール展(滋賀県立美術館ミニギャラリー/滋賀)

- 空間とかたち(ギャラリーアートサイト/滋賀)

賞歴

2010- 4th RIGA INTERNATIONAL TEXTILE AND FIBRE ART TRIENNIAL Special Prize of the Riga City Council (Riga/Latvia)

- 第60回西宮市展 入選(西宮市民会館/兵庫)

2008- ておりや創業30周年記念公募展 入選(グランキューブ大阪/大阪)